



【P23～24 解説シート】⑧

むかしの市のようにすをつたえるものに、どのようなものがあるのかな？

稻生(いのう)神社(じんじゃ)の絵馬(えま)

南今泉の稻生神社には、たくさんの大絵馬がおさめられています。多くの人たちの願いや感しゃの気持ちがつたわってきます。このようなりっぱな絵馬をおさめることができたのは、むかし、九十九里浜でいわし漁がさかんだったからともいわれています。

出典：大網白里市教育委員会「わたしたちの大網白里市」平成29年



青い文字をクリックすると該当ページにリンクしています。

【博物館】⇒ [【“絵馬の宝庫”大網白里】](#)

【博物館】⇒ [【大漁がもたらした「いわし文化」】](#)

【歴史学習のポイント】

九十九里浜は、江戸時代から昭和40年代まで、いわし漁が盛んでした。特に江戸時代から明治までにはたびたび、大漁期がありました。その中で網元が文人墨客を江戸や東京から招き、花開いた独自の文化を「いわし文化」と呼んでいます。

